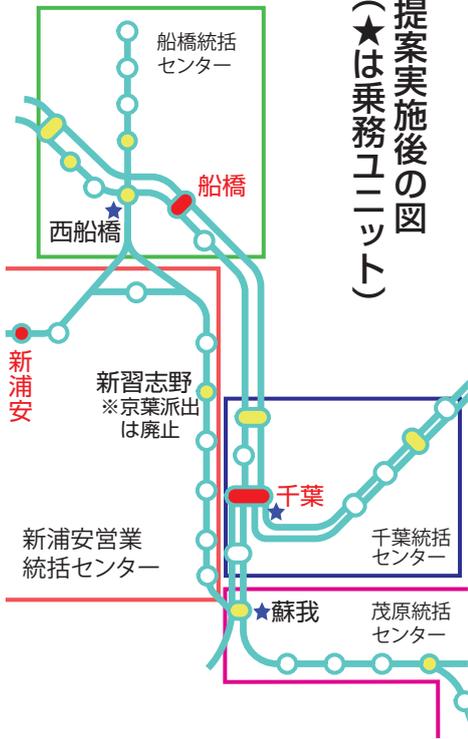


ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

# 会社施策が次々に破たん 今こそ職場から声あげよう

## 船橋統括センター新設 茂原統括センター拡大提案

提案実施後の図  
(★は乗務ユニット)



4月25日、JR千葉支社は船橋統括センター新設と茂原統括センター拡大を提案しました。

内容は、①船橋営業統括センターを統括センターにし、現在の蘇我運輸区京葉派は廃止、②蘇我運輸区と蘇我駅（千葉統括センター所属）を茂原統括センターに統合するというものです。当初の運輸区新設提案を飛ばして、いきなり統括センター化する攻撃です。

**乗務員ないがしろにするな**

千葉支社は昨年12月に全運輸区廃止・統括センター化を提案しました。語られていたのは、「収入へのこだわり」「新たな価値創造を」「成長戦略を強力に推進・収益力を強化」等です。

職名廃止・業務融合化は、鉄道を支える専門的な技術・経験をとことん軽視して、技術継承も要員養成もないがしろにするものです。その目的が、「価値創造のために働け」「利益を生み出せ」ということだと宣言されています。

職場では、乗務員が休日出勤してまで駅業務をやらされたりしています。「頭が変になりそうだ」という声まで上がり、若年退職や休職に追い込まれる仲間が急増しています。乗務員に対するこんな扱いは絶対に許せません。

### 融合化攻撃は矛盾だらけ

業務融合化の攻撃は矛盾に満ちています。だからこそ、会社はその前に労働組合への攻撃を激化させました。攻撃を打ち破る力が、何より職場の団結と労働組合の闘いにあるからです。

そして、攻撃は早くも破たんし始めています。京葉線快速廃止やみどりの窓口廃止は、地域住民の怒りで「修正」に追い込まれました。同じように、職場における職名廃止・融合化等の攻撃を打ち破るのは職場からの声と闘いです。

今こそ地域の怒りとともに、職場から声をあげよう。